

平成26年度小グループ自主的取組支援事業実績報告

No.	代表者名	補助対象事業名	企画提案事業名	事業報告
1	武田 義昭	景観形成事業	紅梅通りの緑化・景観整備プロジェクト	紅梅通りに植えられているハナミズキの手入れをしながら、その周りにも商店街の人やココリの住人とワークショップを行い、プランターを設置した。商店街内外からお洒落だと好評であり、多くの人々が、歩く楽しみ、目で見ると楽しみが増え、街路灯の周りの花壇の設置は植樹と調和し好評を得ている。
2	福島 敏三	交流拠点設置活用事業	オリオンスクエア交流拠点の活用	平成25年7月から商店街の交流広場として開設してきた「ピアノサロン・オリオン」を、甲府市の中心に存在する地域性を生かし、より多くの人に作品展等を開催し、人と人をつなぐコミュニティ機能の強化が図られた。また、振興組合独自の事業を開催し、「交流の場・休憩の場・学びの場」の機能を果たすとともに、振興組合の知名度を高めることが出来た。
3	雨宮 千春	情報発信事業	甲府ファンを作るためのツールづくり	山梨県内で発行されているフリーペーパーは、広告が出せるお店のみがいつも載っている状況です。そこで、今回のフリーペーパーは、甲府の魅力を伝えるために、甲府の自慢できる場所を紹介する内容になっていますので、「甲府の中心街って何も無いよね」という多くの方のために、甲府のいい所、自慢すべき所を紹介することで、県内外に「甲府ファン」を増やすことを目的に製作しました。
4	尾形 直子	交流拠点設置活用事業	エンターテイメント・GAZ	映画館として利用されてきたホールを再生し、山梨県では無かったスタンディング500名収容のメインホールを初めとした全3エリアのホールを整備。地元ミュージシャンや商店街と連携した中心街活性化イベントなどの企画制作、運営活動を実施しました。
5	後藤 晃一	ものづくり拠点整備事業	ジュエリークリエイターによるものづくり拠点整備(貴金属)	これまで都内での販売が主でしたがオーダーメイドや修理などの対応が出来ませんでした。今回出店して対応することが出来ました。また、実店舗が出来たおかげで、自社ブランドの信用も上がり県内外からバイヤーも足を運んでくださる機会も増え、この店を軸に積極的に営業活動が出来ようになりました。今後は、TO LABOの大寄氏と協力して、オリオンイースト発の甲府ブランドの開発も実現させ、県内外からの集客を増やす活動もしたいと思っています。
6	三枝亭 二郎	交流拠点設置活用事業	甲府中心街寄席「甲府丸の内亭」	今まで山梨には無かった定期寄席を中心街で行い、地域住民の憩いの場所、並びに新たな人的交流拠点を作ることが出来た。また、会場外には寄席提灯を掲げ、寄席囃子を流し、街ゆく人に伝統文化の香りを届けた。
7	原野 欽司	情報発信事業	甲府中心市街地再発見番組制作	甲府中心市街地の昭和レトロな路地・横丁を紹介する番組を製作・放送することにより、中心市街地の魅力の再発見、また、そこでしか味わえない人情味や温かさを感じてもらい「行ってみたい」と思う動機づけになるようにし、テレビをとおり甲府中心市街地の魅力を県民に広く知ってもらい、興味を持った人に足を運んでもらえた。
8	中村 雄二	ものづくり拠点整備事業	アフターオフィス事業	山梨宝石美術専門学校が現在5時までしか教室を使えない状況であり、学生が不満を持っています。そういった学生の不満を解消するために平日夕方5時以降に学生にスペースを開放し、学校では踏み込めなかった作業やコミュニティを築いていくことが目的となっており、専門学校の講師、業界で活躍している非常勤講師を招いて学生と交流をしていただいた。今回の事業で、将来的にオリオンイーストにお店を持ちたいと考えている生徒が2名程いました。これからも活動を継続的に行っていき、山梨の地場産業であるジュエリーのインフラを整備していく部分を担っていこうと思います。
9	青木 はるひ	飲食による魅力ある街づくり事業	KOFU FOOD VILLAGE	「芳野ビル」の1階をリノベーションし、「屋台村」をつくり、地産地消によるお店づくりを行うことで、地元住民の地元愛の醸成が図られるとともに、近隣ホテルに宿泊している出張者等観光客の集客にもつながり、人の賑わいを感じることが出来るよう整備できた。